

# 協和二丁目自治会ごみ関連施設見学会の実施報告書

南街・桜が丘地域防災協議会本部

平成29年11月20日

平成29年11月20日に恒例の協和二丁目自治会主催のゴミ関連施設見学会を開催しました。今回は本年04月01日に稼働を開始した武蔵野市の「むさしのクリーンセンター」、大東京総合卸売センター及び東京武蔵野ブルワリー(サントリー工場)の見学を行いました。見学会には市のゴミ対策課、協和二丁目自治会、南街二丁目協和三丁目自治会、栄三丁目自治会、末広二丁目自治会、新海街道自治会及び他から約40名の参加者がいました。見学の詳細は以下の通りです。

## A. むさしのクリーンセンター

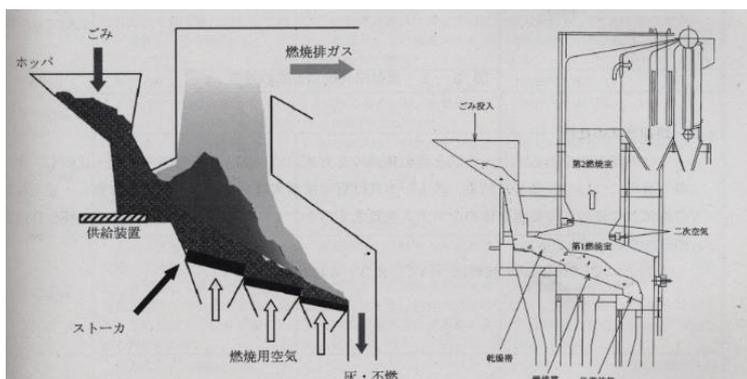
本年04月01日から稼働開始したストーカ炉使用の、煙突の高さ60mの工場で120トン/日の燃焼能力のある工場で、1984年に建設し、32年間稼働しましたが、耐用年数の状況により昨年12月に稼働を中止し、現在の新工場へ移行しました。この工場は燃えるゴミ、燃やさないごみ、粗大ごみ及び有害ごみを受け入れております。

尚軟質及び硬質プラスチック中間処理工場は別の個所に設置されておりますので、本工場ではこれらのプラスチックと他の燃えるゴミと一括燃焼してはおりません。尚プラザ関連設備も簡素化しており過剰な設備投資はされておられません。

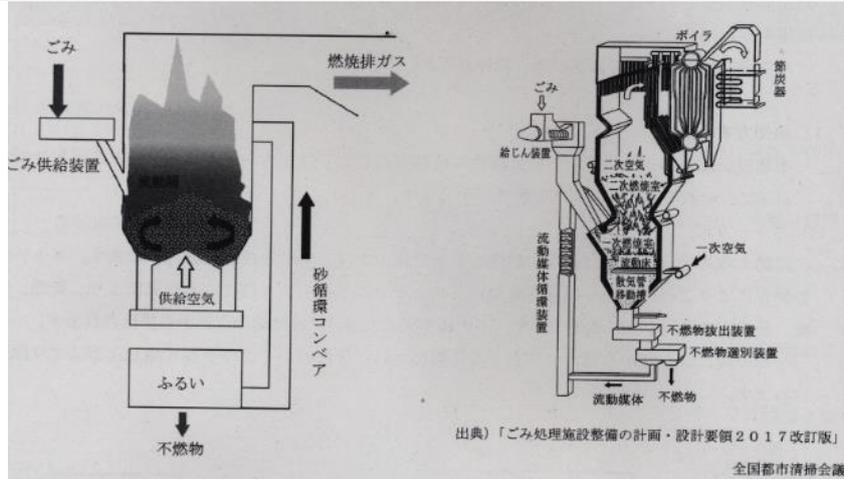
### 工場外観



### ストーカ炉の構造図(本工場で採用の燃焼炉です)



参考資料；流動床炉の構造図；この様な構造の燃焼炉も採用されている工場があります



基本データ比較

人口数	
武蔵野市	14.5 万人
小平市	19 万人
東大和市	8.6 万人
武蔵村山市	7.3 万人
合計	34.9 万人

2.4 倍

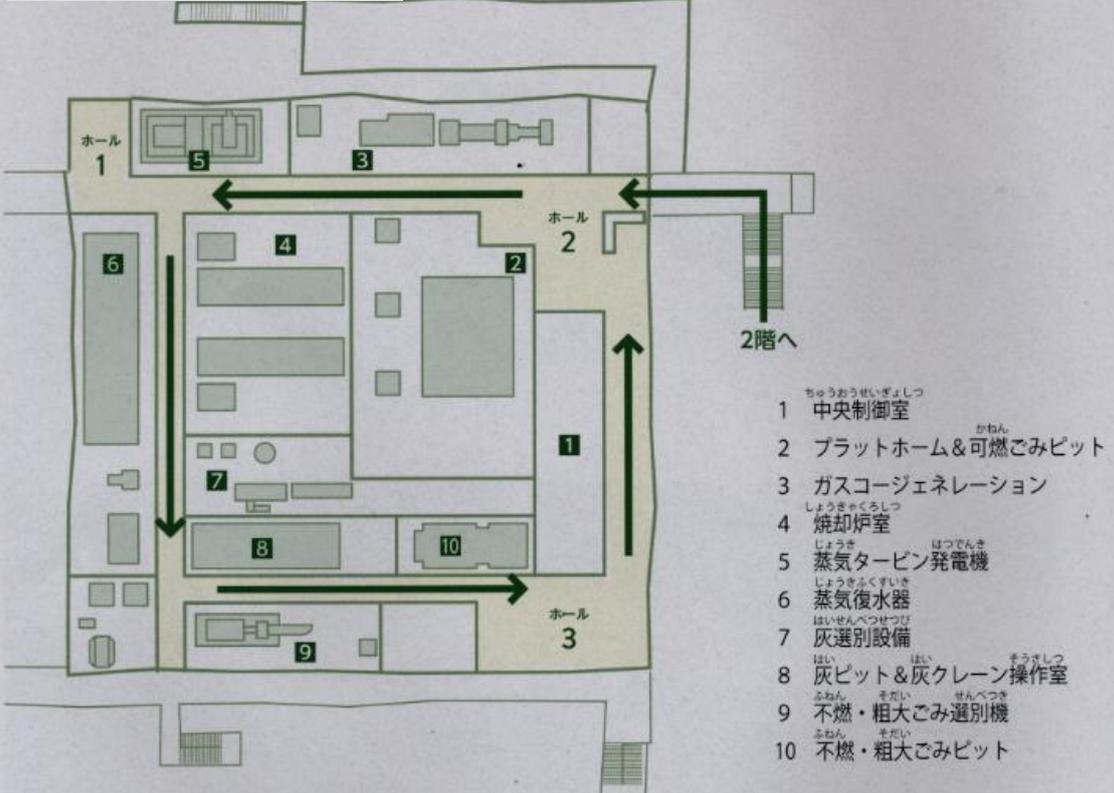
ごみ処理能力(燃焼炉は2炉)

武蔵野市；120 トン/日  
3 市；236 トン/日(1.97 倍)  
(新燃焼工場仕様案)

不燃粗大ごみ施設

武蔵野市； 一体化  
3 市；別施設建設予定

設備レイアウト図及び見学通路

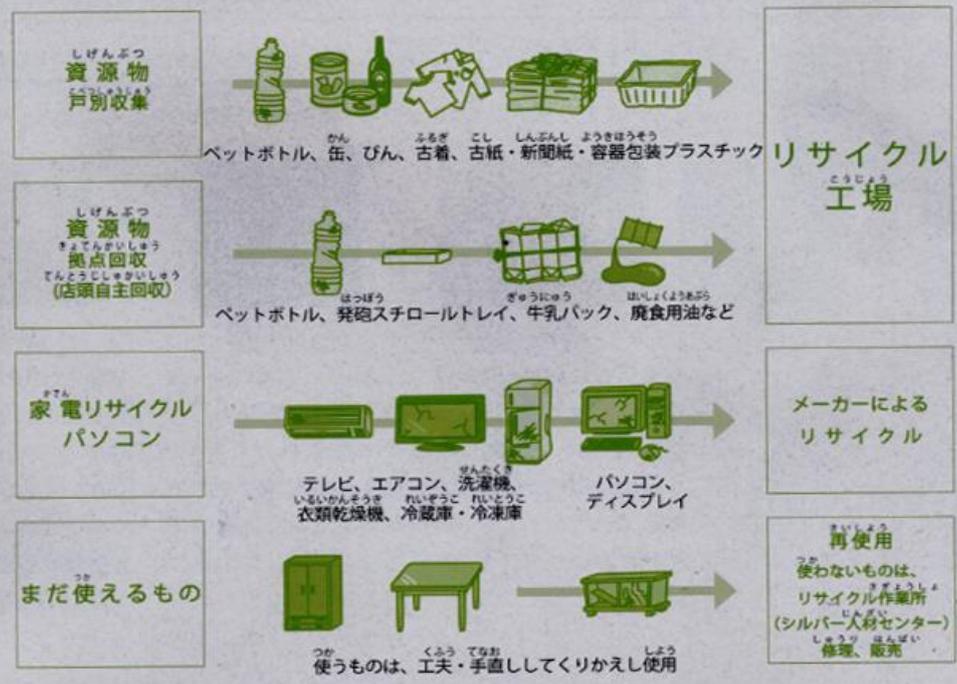
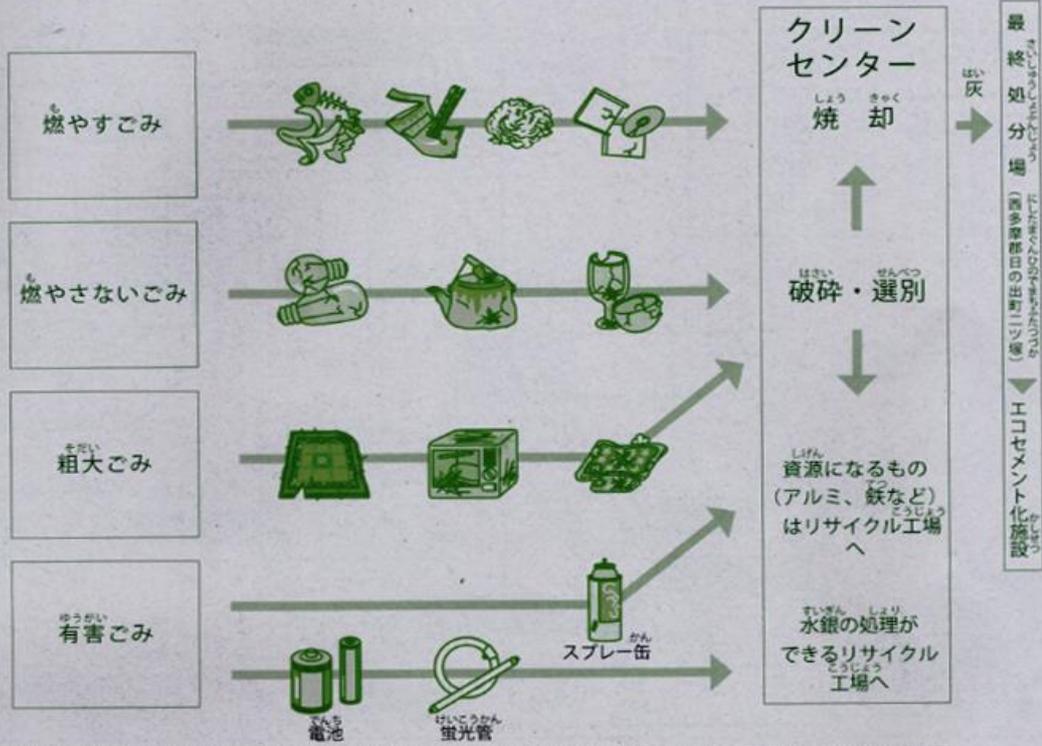


武蔵野市の排出されるごみの処理方法は基本的に東大和市と同等と言えます。

### 武蔵野市のごみのゆくえ

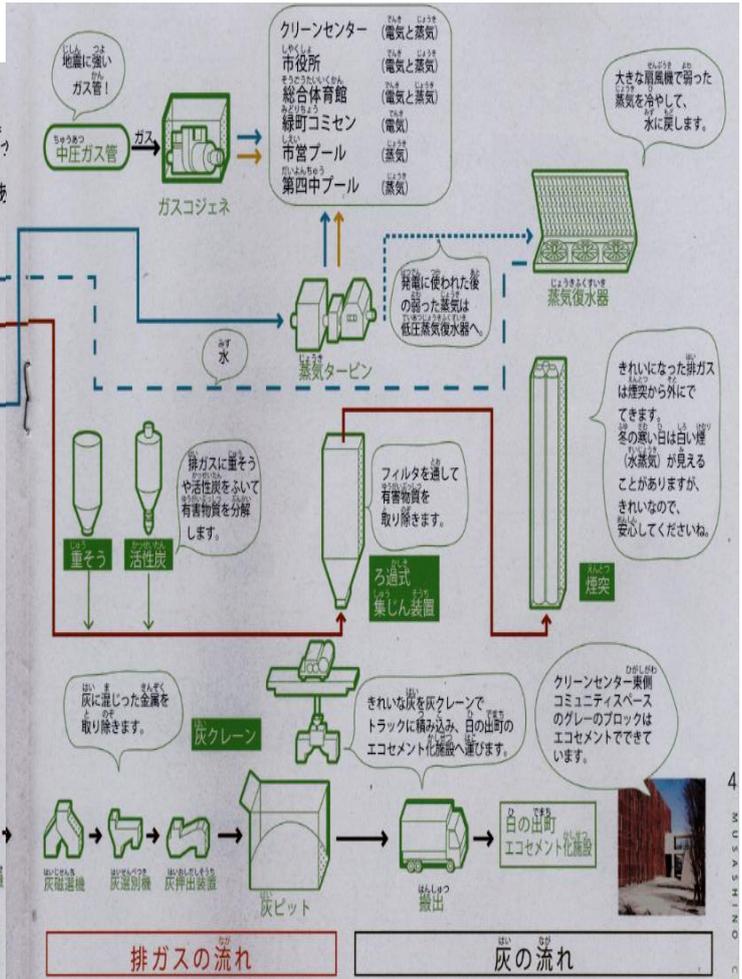
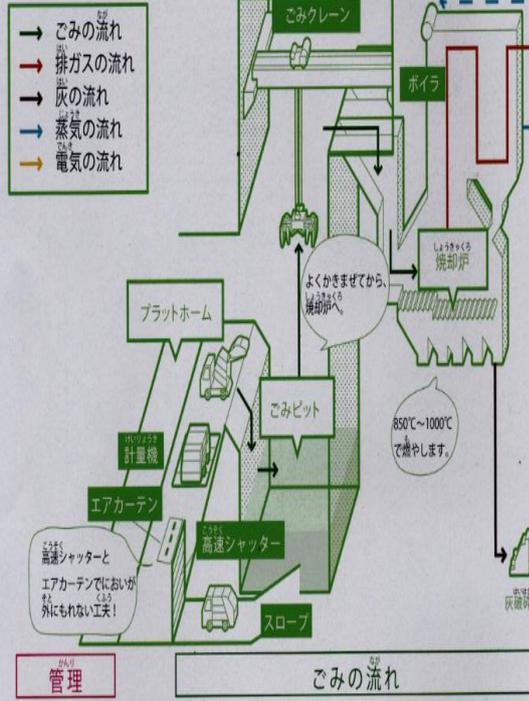
みなさんのお家から出るごみはどこに運ばれているのでしょうか？

クリーンセンターに運ばれてくるのは、燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ、有害ごみの4種類です。そのほかのごみは、リサイクル工場に直接運ばれています。



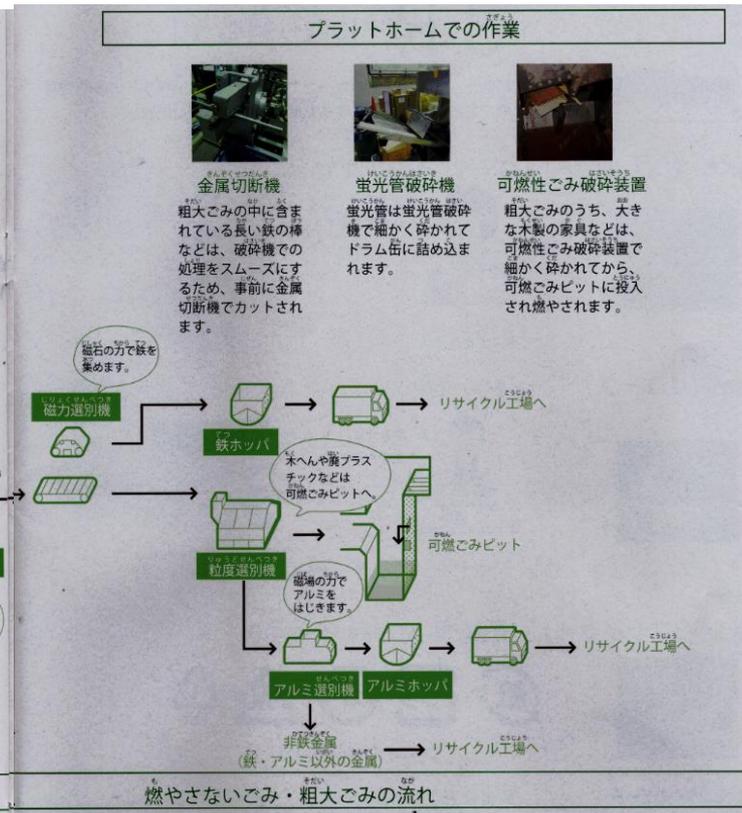
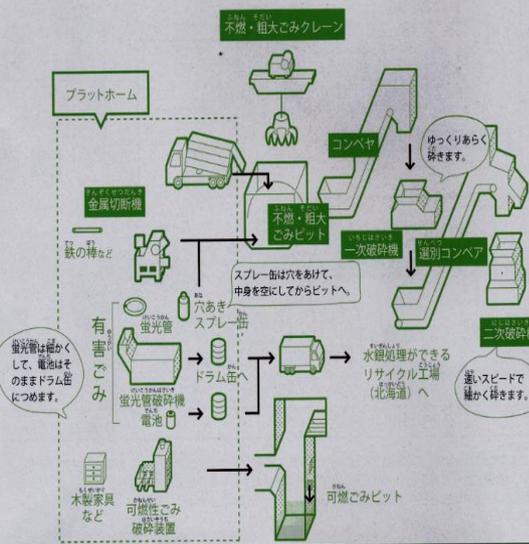
# ごみ処理の流れ | 燃やすごみ

武蔵野クリーンセンターでは、毎日ごみ収集車 80 台分、100 トンのごみが集められ焼却処理を行っています。おおぜいの方が暮らすまちの真ん中にあるクリーンセンターは、まわりの環境に影響をあたえないように、さまざまな対策をしています。



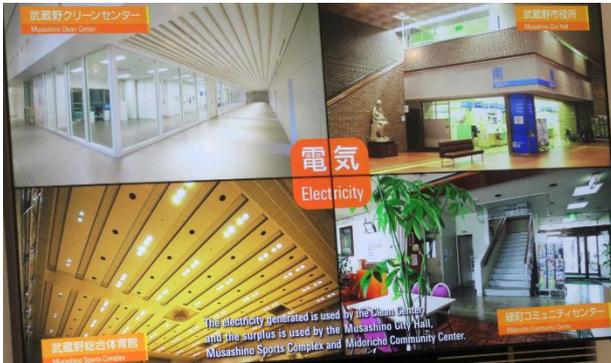
# ごみ処理の流れ | 燃やさないごみ・粗大ごみ

市内から集められた燃やさないごみや粗大ごみは、破砕機によって細かく砕いたあと、選別機によって、鉄やアルミなどの金属を回収し、貴重な資源として再生工場に運ばれます。有害ごみも運ばれてきています。蛍光灯、電池は水銀が含まれているため、プラットフォームでドラム缶に積み、北海道にあるリサイクル工場まで運んで特別な処理をしています。





工場の説明を受ける参加者



煙突は再利用で60mの高さ



タッチパネルで映像が表示される



中央監視室



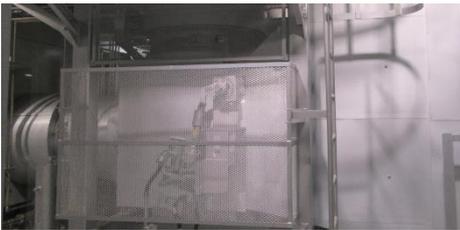
ごみピット



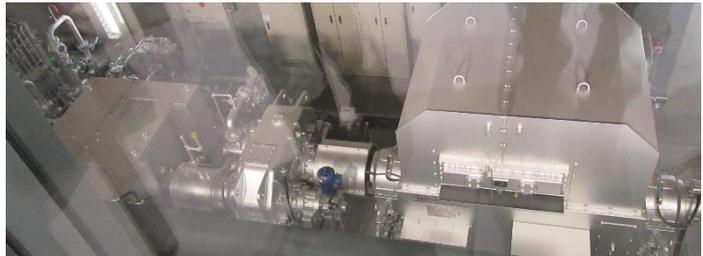
クレーン



蒸気復水器



蒸気タービン発電機



灰選別設備



灰ピット&灰クレーン操作室



粗大ごみ破碎設備



一次破碎機 (はさいき) Primary crusher



二次破碎機 (はさいき) Secondary crusher

破碎機

